読み聞かせをしよう

～相手に楽しんでもらうには～

知的障がい
高等部3年　国語
読書指導、資料の活用

ねらい

○小学部の児童が楽しめるような選書のポイントを知り、友達と話し合って読み聞かせの本を決める。
○今までの経験から相手により伝わる読み聞かせのポイントをまとめる。

学　習　展　開　・・・・・・・・・

① 学習のねらいを知り、読み聞かせにむけての学習の見通しを持つ。
② 学校司書と一緒に、相手を意識した選書のポイントをまとめる。
③ 学校司書、司書教諭の読み聞かせを聞き、選書や読み聞かせのイメージを持つ。
④ 何冊かの候補の中から、より楽しんでもらえそうな本を話し合う。
⑤ これまでの経験をもとに、司書教諭と一緒に読み聞かせのポイントをまとめる。

選書のポイント「あいうえお」って？

【本番】大きな動きで一緒に楽しもう！

◇司書教諭と学校司書の関わり

- 事前に担当教員、学校司書、司書教諭で学習のねらい、流れ、教材、役割等について打ち合わせし、それぞれ教材を準備する。
- 学習の導入で、学校司書、司書教諭は TT として授業に入り、読み聞かせについてのポイント（選書、表現等）について指導する。
- 担当教員は、生徒たちの意見をまとめて読み聞かせ会の流れを決め、練習を進める。

★指導のポイント

◆選書・読み聞かせのポイントについては、頭文字を「あいうえお」にしたり本を提示したりしてヒントを出し、これまでの経験をもとに生徒が自ら考えられるようにする。

◆候補となる本を何冊か合わせて紹介し選書しやすくする。

資料	・「だるまさんが…」/作・絵：かがくいひろし（ブロンズ新社） ・「やさいさん」/作・絵：tupera　tupera　（学研教育出版）